

2020年を振り返ると…………

子供たち多くのこと経験 今年も頑張ったね!



今年も残すところ、後10日となりました。2020年を振り返ると、どのような1年だったでしょうか。子供たちにとって大きな「変化」の年になったことでしょうか。相好体操クラブも「変化」の1年となりました。1月に行われたチャレンジトランポリン。模範演技を披露してくれた植田太郎選手と太村成見選手の両名。現在は、相好トランポリンクラブの選手権コーチとして活躍してくれています。2月には相好体操クラブのビックイベント「相好カップ」が伊賀のゆめドームにて開催されました。多くの子供たちが参加をし、見事に四日市教室が前人未踏の6連覇を達成。先生と子供たちの団結力が目立った大会となりました。順調に滑り出したと思われた矢先、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当クラブも発足して初となる臨時休講を余儀なくされました。その中でも、子供たちは自宅ででき

るトレーニングや練習を続けてくれていました。6月末には休講明け初となる進級テスト、7月には今年度初となる大会を、新設された四日市市総合体育館にて行うことができました。9月には社会人チームが、全日本シニア大会で強豪チームを抑えて団体3位入賞。秋季丸山杯では多くの子供たちが上位入賞を果たし、練習の成果を発揮することができました。11月には育成コースの子供たちを対象にした育成チャレンジカップが初めて開催され、白熱した戦いが繰り広げられました。様々な変化によって大人も子供たちも成長することができた2020年。この1年を乗り越えられた子供たちは2021年、大きく飛躍することができそうです。さあ、新しい年はどんな年になるのでしょうか。新年も子供たちの成長を一番近くで、追いついていきたいと思います。

(大嶽 晃久)



素直に練習取り組む
驚異的なスピードで上達

中級コースに通ってくれている小学4年生の優花ちゃん。優花ちゃんという向上心がとても強く、どんなことにも挑戦しながら練習に取り組んでくれていました。授業中は先生の話をしっかりと聞いてくれており、素晴らしい勢いで上達しています。最初は怖くて跳べなかった跳び箱も、一人で転回ができてそうなるまで来ています。友達と仲良く

(記事：平野先生)



進級テスト子供たちの実力出し切る
次は相好カップに向けて前進

11月24日(火) 29日(日)の期間で行われた進級テスト。子供たちは持てる力をすべて出し切り、テストをやり抜きました。成功と失敗、どちらもが子供たちで生まれた経験

ちの財産になるはず。2月に開催が予定されている相好カップも同じです。参加する子供たちの数だけドラマがあります。その中で生きた経験

は子供たちの成長に必ずつながるはず。申し込み開始まであと少しです。新年度は相好カップに向けて、先生たちと一緒に全力で駆け抜けていこう!

(大嶽 晃久)

進級テスト

1月26日(火)～1月31日(日)

上記の日程で進級テストを行います。

☆休講期間案内☆

2月27日(土)～2月28日(日)

相好カップのため、休講となります。

△オオキタイルくん、ナガノイツクくん（後列左から）、クボタイガくん、ニシガイトソウくん（中央左から）、コミノイカちゃん、ヨシダアカリちゃん（前列左から）の6人。先生とのコミュニケーションもしっかりと取ってくれており、積極的に難しい技にもチャレンジしてくれる子供たちです。

11月から体操を始めた聡真くん。明るく元気で、一生懸命練習に取り組んでくれていきます。お兄ちゃんの幸輝くんが体操をしている姿にあこがれて習い始めた体操。最近では鉄棒の逆上がりが一人で行えるようになって

り、大好きなトランポリンも元気いっぱい跳んでいます。そんな聡真くんの目標は5段の跳び箱で開脚跳びを成功させること。憧れのお兄ちゃんに追いつけるように、元氣いっぱい練習に取り組もう！(大嶽晃久)

この日は進級テストも近かった
ので、マットの
転回や跳び箱の
ヘッドスプリン
グ、鉄棒のフツ
ト降りなど練習
中の技を集中し
て行いました。
中級コースにな
るとどび箱が大
きくなって恐怖
心が強くなった

り、習得する技
も難しくなって
時間がかかるこ
ともありますが、
大好きな体操を
一生懸命練習し
ている成果が少
しずつ表れてい
ます。先生と一
緒にたくさんの
技を覚えていき
ましょう！

(記事・中原先生)

苦手な柔軟も率先しておしもらう努力家な大暉くん。そんな彼の注目ポイントとは種目始めのあいさつにあります。普段からあいさつは拳手制で行っています。大暉くんはその拳手をするスピードがとても早く、手が真っ直ぐに伸びているところが素晴らしいです。大きな声であいさつをした後に体操の練習を真剣に取り組んでくれています。これからも、持ち前の明るさで教室を盛り上げてください！

（記事・西垣戸先生）